

## 【大分県】

**現在の景気：**一部に持ち直しの動きがあるものの、足踏み。

**3か月程度の見通し：**横這い圏内で推移するとみられている。

**個人消費：**横這い。2月の大型小売店販売は前年比横這い。乗用車販売（軽含む）は、普通乗用車が前年比25.8%増加、小型乗用車が34.1%増加、軽乗用車が34.0%増加し、全体では前年比32.0%増加。

**住宅建築：**足許増加したものの、低調。2月の住宅着工戸数は前年比44.4%増と3か月連続で増加。持家が2か月ぶりに減少、貸家が2か月連続で増加。

**設備投資：**低調。2月の建築着工床面積（非居住用）は前年比46.8%減と2か月ぶりに減少。貨物車販売は前年比39.6%増と5か月連続で増加。

**公共工事：**足許増加したものの、低調。1月の公共工事請負額は前年比5.6%増と2か月連続で増加。件数は前年比33.0%増と3か月連続で増加。

**輸出：**足許減少したものの、持ち直し。1月の大分税関支署通関輸出額は、映像機器、事務用機器が増加したものの、船舶類、有機化合物、銅および同合金が減少し、全体では前年比8.0%減と8か月ぶりに減少。

**生産活動：**横這い圏内の動き。1月の鉱工業生産指数（季調済）は前月比3.3%上昇し103.0と2か月連続で上昇。一般機械、情報通信機械、窯業・土石製品など8業種が上昇、金属製品、電気機械、食料品など12業種が低下。

**観光：**一進一退。2月の別府周辺地区の観光動態は、宿泊施設が前年比8.7%減と6か月連続で減少。レジャー施設は前年比6.1%減と3か月ぶりに減少。

**雇用情勢：**緩やかな持ち直し。2月の県内有効求人倍率（季調済）は前月比0.03ポイント上昇し0.73倍。有効求職者数（季調済）が前月比0.3%増加、有効求人数（季調済）が3.8%増加。

## （トピックス）

○3月17日、JR大分駅（大分市）の完全高架化に伴い、新しい駅舎での鉄道運転が開始。

鉄道で南北に分断されていた大分市の中心市街地が一体化したほか、高架下などを利用した商業施設もオープン。今後、新駅舎の北側では2015年春の開業を目指し、商業施設やホテル、映画館、展望浴場などを備えた駅ビル（地上22階地下1階）を建設する。

○JR九州グループは、大分県や農業団体がブランド化に力を入れている高糖度甘藷（かんしょ）「甘太くん」を臼杵市野津町で生産することを発表し、市と進出協定を締結。同社グループの県内の農業参入は、ニラ（大分市）、甘夏（臼杵市）に次いで3品目。将来は首都圏の系列飲食店などで取り扱う意向で、流通の拡大が期待される。

< 主要産業の動向 ー大分県ー >

○薄板：自動車向けの需要がやや増加。

○セメント：フル生産を維持。

○造船：受注残が減少。

○エチレン：設備故障のため生産中止。